

SCORM技術者試験例題

平成23年7月

日本イーラーニングコンソシアム
標準化推進委員会

SCORM技術者資格試験例題 その1

問題X-X

SCORM1.2 規格における、LMSとコンテンツの具体的な役割分担に当てはまる選択肢を空欄に入れ、表を完成させなさい。なお、LMS、SCOなどの機能、動作などは、特記しない限りSCORM1.2規格に準拠しているものとする。

SCORM1.2 規格における役割分担

LMS	・ (1)	d
	・ 学習者に選択された目次項目に対応する学習資源を配信する	
	・ (2)	e
	・ SCOからの要求に応じて、格納したデータを受け渡す	
コンテンツ	・ (3)	a
	・ 学習者に学習画面を提示する	
	・ 学習状況を判定する(修了・学習中など)	
	・ LMSに学習状況を送信する	
	・ クイズの場合には、採点し結果をLMSに送信する	
	・ (4)	c
	・ (5)	b

★設問のねらい

RTEとCAMそれぞれの役割について理解しているか

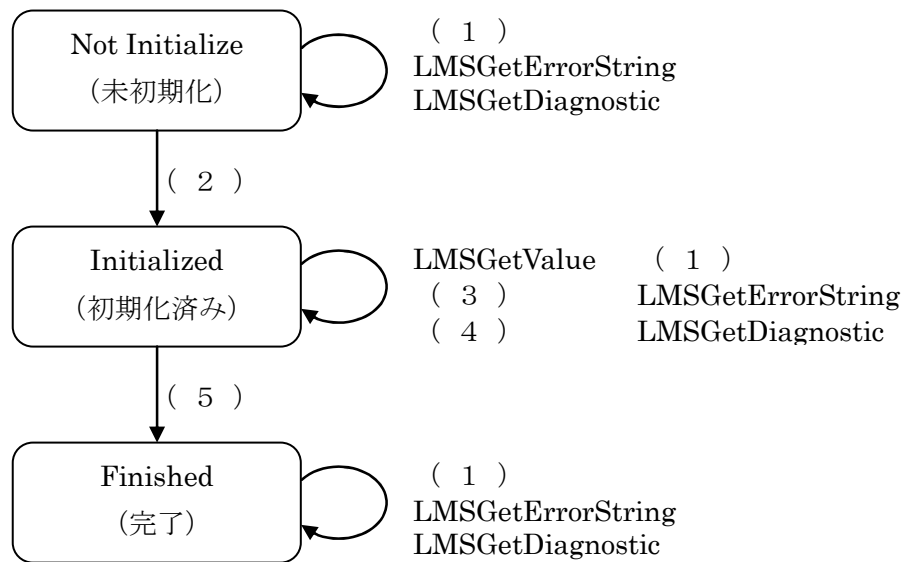
※(1)～(3)、(4)～(5)の解答はそれぞれ順不同とする。

- ・ <選択肢>
- ・ a. 各学習者の進捗状況や得点を格納し保持する。
- ・ b. 各学習資源の可否条件を決定する。
- ・ c. 学習者にクイズに解答するための、チェックボックスやボタンなどのインターフェースを提供する。
- ・ d. 目次を提示する。
- ・ e. 各SCO間を移動したり、進捗状況を確認するインターフェースを提供する。

SCORM技術者資格試験例題 その2

問題X-X

APIアダプタの状態遷移とAPI関数に関する以下の説明図の空欄に適切なものを選択肢から選びなさい。なお、LMS、SCOなどの機能、動作などは、特記しない限りSCORM1.2規格に準拠しているものとする。



★設問のねらい
 APIアダプタ(APIインスタンス)の状態遷移について理解しているか

＜選択肢＞（複数回使用可）

- a. LMSSetValue
- b. LMSStop
- c. LMSFinish
- d. LMSStart
- e. LMSInitialize
- f. LMSGetLastError
- g. LMSsetError
- h. LMSCommit

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
f	e	a	h	c

SCORM技術者資格試験例題 その3

問題X-X.

以下の機能について、サポートしているSCORMのバージョンを選択肢から入れなさい。

機能項目	解答欄	
	SCORMのバージョン	
シーケンシング機能	(1)	b
学習者の得点表示	(2)	c
SCOからのナビゲーションコマンド発行	(3)	b
学習者のステータス表示	(4)	c
LMSナビゲーションボタンの表示/非表示の制御	(5)	b

< 選択肢 > (複数回使用可)

- a. SCORM1.2
- b. SCORM2004
- c. SCORM1.2、2004共にサポート

★設問のねらい

SCORMのバージョンごとの機能の違いを理解しているか

SCORM技術者資格試験例題 その4

問題X-X.

以下は、SCORM1.2/SCORM2004のAPI関数名とその説明を表にしたものである。
 (1)～(5)にあてはまるものをそれぞれ1つ選択しなさい。

SCORM1.2	SCORM2004	説明
LMSInitialize(“”)	Initialize(“”)	RTEセッションを (1) .
LMSFinish(“”)	(2)	RTEセッションを終了する.
LMSGetValue(parameter)	GetValue(parameter)	LMSからデータを取得する.
(3)	SetValue(parameter_1, parameter_2)	LMSに送るデータを設定する.
LMSCommit(“”)	(4)	LMSにデータを格納させる.
LMSGetLastError()	GetLastError()	直前のAPI関数の (5) を取得する.
LMSGetErrorString(parameter)	GetErrorString(parameter)	エラーメッセージを取得する.
LMSGetErrorDiagnostic(parameter)	GetErrorDiagnostic(parameter)	LMS固有の診断メッセージを取得する.

<選択肢> (複数回使用可)

- | | |
|--|----------------------------|
| a. LMSSetValue(parameter_1, parameter_2) | b. 開始する |
| c. Commit(“ ”) | d. エラーコード |
| f. Terminate(“ ”) | e. LMSSetData(parameter_1) |
| g. Finish(“ ”) | h. メッセージ |

★設問のねらい

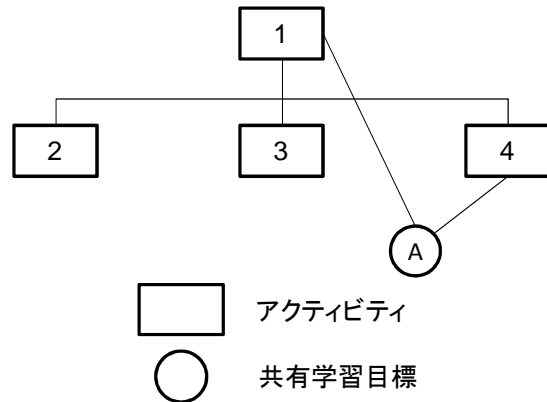
API関数の機能やSCORMのバージョンごとの
 差異を理解しているか

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
b	f	a	c	d

SCORM技術者資格試験例題 その5

問題X-X.

図に示すようなSCORM2004 コンテンツの動作の記述に関する空欄に正しい選択肢を入れなさい。ただし、表に示す以外の設定はデフォルトに従うものとする。



アクティビティ	設定
1	FlowがTrue. 習得状態をAから読み出す. 不合格ならRetry
2	
3	
4	習得状態をAに書き込む

Startナビゲーション要求を実行すると(1)が提示される。続けて(2)ナビゲーション要求を2回実行するとアクティビティ4が提示される。ここで、SCOからRTEを経由して(3)データモデル要素を(4)にすると、共有学習目標Aが(5)となる。この状態でContinueナビゲーション要求を実行するとアクティビティ2が提示される。

<選択肢>

- | | | |
|-----------------------|-----------------------------|--------------------------|
| a. アクティビティ1 | b. アクティビティ2 | c. アクティビティ3 |
| d. Continue | e. Previous | f. cmi.completion_status |
| g. cmi.success_status | h. cmi.scaled_passing_score | i. passed |
| j. Failed | k. completed | l. incomplete |
| m. 合格 | n. 不合格 | |

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
b	d	g	j	n

★設問のねらい

シーケンシングにおける、ロールアップルールの概要と基本的動作について理解しているか

SCORM技術者資格試験例題 その6

問題X-X.

シーケンシング規格に関する以下の記述の空欄にあてはまる用語を選択肢から選びなさい。

SCORM2004 で導入されたシーケンシング規格では、ロールアップによってアクティビティの学習状態の更新を行う。ロールアップ処理では、(1)の状態変化によって対応する(2)の状態が変化し、これが順次(3)に伝えられて、最終的にアクティビティツリー全体の学習状態が更新される。ロールアップ処理には、習得度ロールアップ、学習目標ロールアップ、進捗状態ロールアップがある。習得度ロールアップでは、子アクティビティの習得度の(4)によって親アクティビティの習得度が決まる。学習目標ロールアップ、進捗状態ロールアップでは(5)によって学習状態が更新される。

<選択肢>

- a. SCO
- b. アセット
- c. ルートアクティビティ
- d. 親アクティビティ
- e. 子アクティビティ
- f. 葉アクティビティ
- g. 学習目標
- h. 加算処理
- i. 重み付き平均処理
- j. ロールアップルールの評価
- k. シーケンシングルールの評価

★設問のねらい

シーケンシングにおける、ロールアップルールの概念を理解しているか

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
a	f	d	i	j

SCORM技術者資格試験例題 その7

問題X-X

SCORM規格に関する以下の記述が、正しければ○、間違っていれば×を解答欄に記入しなさい。

SCORMが開発される以前は、コンテンツとプラットフォーム(LMS)が明確に分離されていなかったり、分離されていても、あるベンダのプラットフォーム向けのコンテンツは、他のベンダのプラットフォームでは実行できなかった。このような状況では以下のような問題が生じる可能性があった。SCORM規格は、コンテンツとLMSの相互運用性を実現し、これらの問題を解決することを目指している。

- (○) コンテンツ開発にサーバサイドプログラミングなど専門的な知識が必要となる場合がある。
- (×) Webのマルチメディア機能や対話機能がコンテンツで活用できない。
- (×) シミュレーションなど高機能のコンテンツが開発できない。
- (○) LMSをリプレースすると、コンテンツの作り直しが発生する可能性がある。
- (○) 外注先を選択する際に、特定のLMSに依存した技術にしばられるため、外注先が限られる可能性がある。

★設問のねらい

SCORM規格活用の意義について
理解しているか

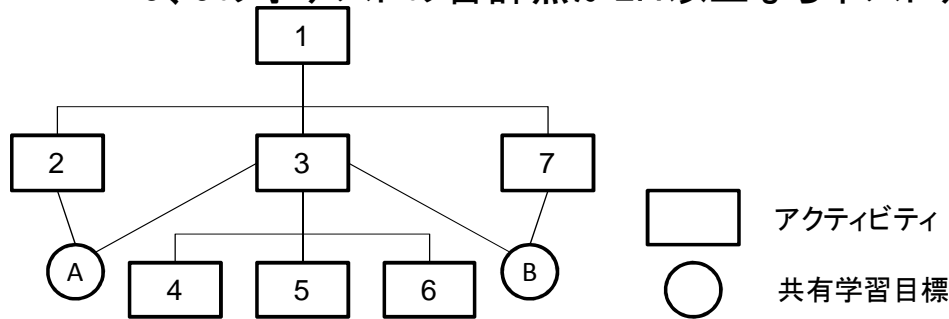
SCORM技術者資格試験例題 その8

問題X-X.

図に示すようなSCORM2004 コンテンツを要求条件のように動作させる場合のシーケンシングルールを設定を選択肢から選びなさい。ただし、表に示す以外の設定はデフォルトに従うものとする。

【要求条件】

アクティビティ2はプリテスト、アクティビティ7はポストテストである。アクティビティ4、5、6は、ひとつひとつが解説と小テストのSCOに対応しており、この順にしか学習できない。プリテストの点数が0.9以上なら、クラスタ3を学習させずにポストテストを受験させる。アクティビティ4、5、6の小テストの合計点が2.4以上ならポストテスト受験は不要とする。



アクティビティ	設定
1	FlowがTrue。
2	習得度を(1)
3	Flowと(2)をTrue。Aの習得度が(3)。習得度を(4)。
4	
5	
6	
7	習得度をBから読み出す。Bの習得度が(5)

<選択肢>

- | | | |
|--------------------|---------------------------|--------------------|
| a. Aに書き込む | b. Aから読み出す | c. Bに書き込む |
| d. Bから読み出す | e. Choice | f. Choice Exit |
| g. Forward Only | h. Stop Forward Traversal | i. 0.8以上ならSkip |
| j. 0.9以上ならSkip | k. 2.4以上ならSkip | l. 0.8より小さければRetry |
| m. 0.9より小さければRetry | n. 2.4より小さければRetry | |

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
a	g	j	c	i

★設問のねらい

シーケンシング動作のメカニズム、共有学習目標とアクティビティのふるまいについて、関連付けて理解しているか

試験対策キーワード

- マニフェストとデータモデル
- しきい値の考え方
- シーケンシング
- ロールアップルール
- ナビゲーション
- 共有グローバル学習目標
- コンテンツポーターション